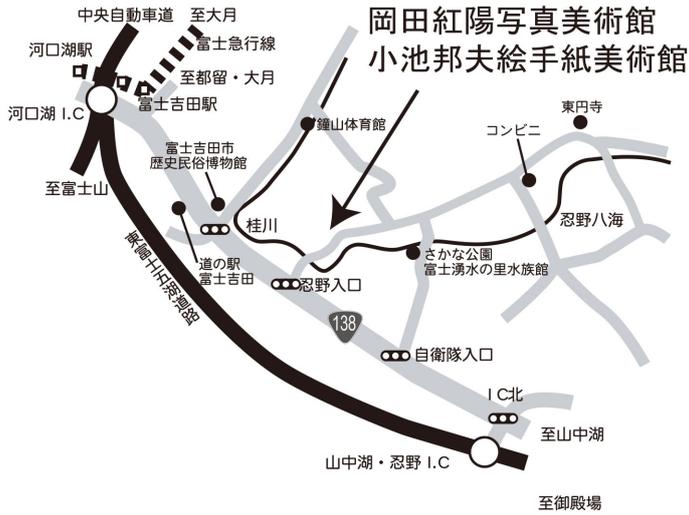


# 岡田紅陽写真美術館 小池邦夫絵手紙美術館

夏季開催のイベント

## ご利用案内

- 開館時間 午前 10 時～午後 5 時（最終入場 4 時 30 分）
- 休館日 火曜日、7 月・8 月は会期中無休
- 入場料 一般 500 円、中・高生 300 円、小学生以下無料  
※JAF 会員証をお持ちのグループ 100 円引き



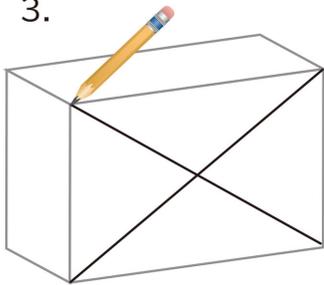
## スタンプラリーで千円札を完成させよう!

美術館内でスタンプをおして千円札の絵を完成させましょう!  
千円札の裏側の富士山の絵は写真がもとになっています。その写真は岡田紅陽という写真家が撮影した本栖湖からの富士山です。



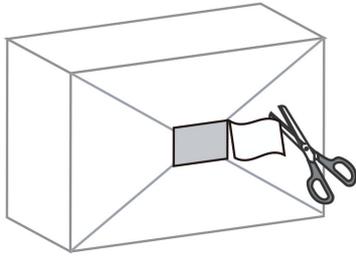
<http://shikinomori.webcrow.jp/>  
〒401-0511  
山梨県南都留郡忍野村忍草2838-1  
TEL.0555-84-3222 FAX.055-84-3320

3.

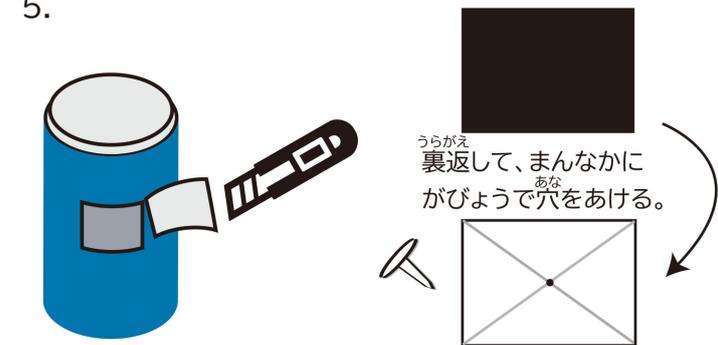


箱の角から線を引いてバツテンをつくります。バツテンの真ん中あたりをきりとりましょう。

4.



5.

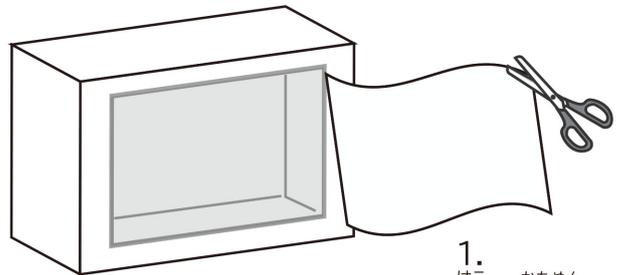


4できりとした部分より少し大きく缶をきりとりま  
す。きりとした缶の片面を黒くぬってください。裏返  
して真ん中にかがびょうで穴をあけます。

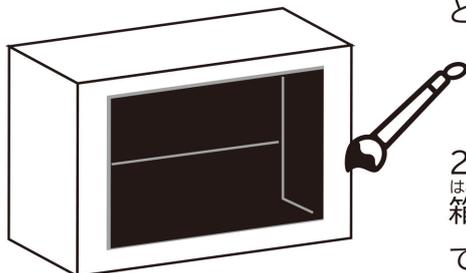
## ピンホールカメラを作ろう!

### ●よいするもの

箱、あき缶、トレーシングペーパー、ハサミ、カッター、がびょう、墨や黒色の絵具、黒いテープ、のり、黒い油性ペン

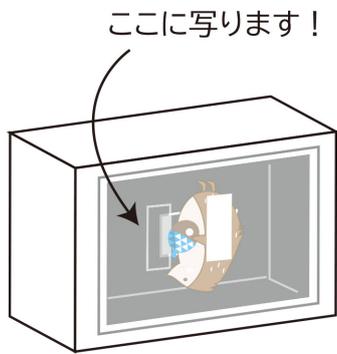


1. 箱の片面をきりとりま  
す。



2. 箱の中を黒くぬ  
つてかわかします。

④



ピンホールカメラでものを見ると上と下、右と左はどのように見えるかな？ほかにも気付いたことをかこう！

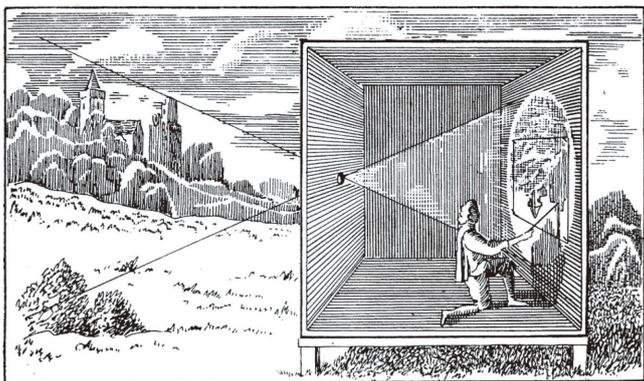


⑥

もんだい！

下の絵の人は何をしているのでしょうか。

( )



こたえ！…絵をかいている

カメラはものを写す道具です。上の絵は昔のカメラです。昔のカメラは、窓がない建物の壁に小さい穴を空け、その穴を通して写った風景をなぞって絵の下書きをしていました。

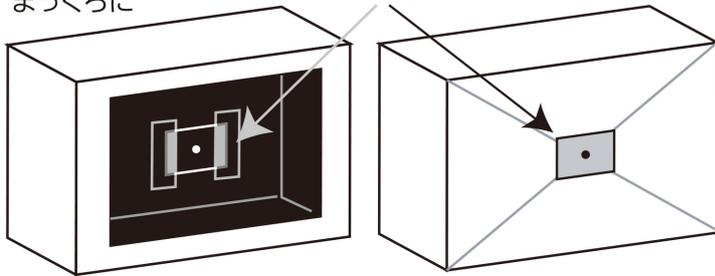
ピンホールカメラは昔のカメラを小さくしたものです。

③

うちがわはまっくろに

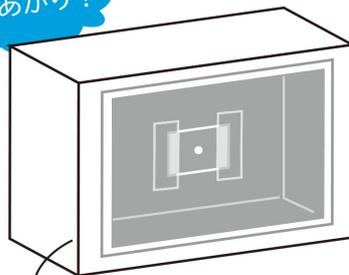
きった缶

前からみたところ

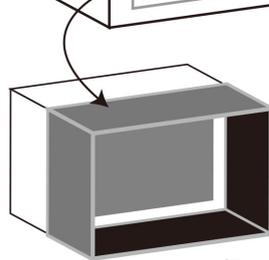


6. 切ったあき缶の黒い方を内側にして、穴が箱の真ん中にくるように黒いテープではりつけます。

できあがり！



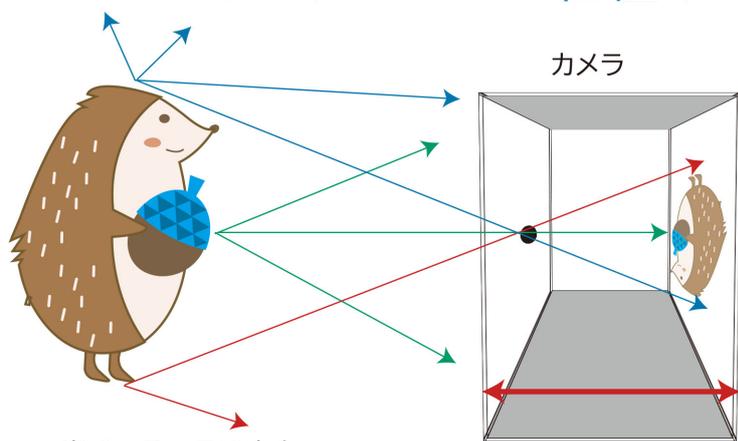
7. 1で切りぬいた部分にトレーシングペーパーをかぶせてテープやのりで箱につけます。



例

トレーシングペーパーに何も写らない時は、厚紙や黒っぽい紙で代わりにカバーやひさしをつけるとみえやすくなります。箱に隙間があったら黒いテープ等でふさいでください。

### ピンホールカメラの仕組み



光はいろいろは方向へ

箱のはばが長いと像が大きくなる。

わたしたちは真っ暗なところではものを見ることができません。わたしたちがものを見ることができるのは、ものに光が当たってその光が目にとどくからです。ものに当たった光はいろいろな方向へまっすぐにすすみます。

ピンホールカメラでは、写そうとするものからカメラの穴に向かってきた光がまっすぐすすんで、トレーシングペーパーにぶつかることで、ものを写すことができます。穴をとおってくる光はほんの少しなので、写った像は本物よりうすくぼやけています。